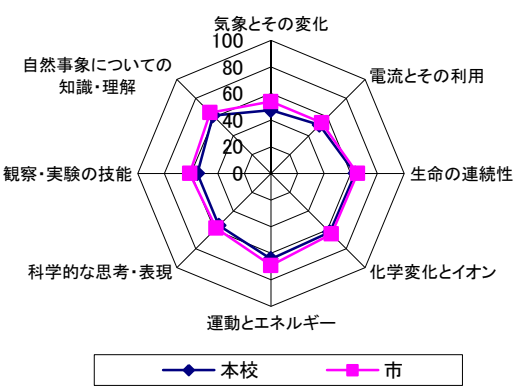


宇都宮市立国本中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	気象とその変化	47.4	54.0
	電流とその利用	51.5	53.8
	生命の連続性	63.4	65.0
	化学変化とイオン	62.5	64.2
	運動とエネルギー	64.3	69.2
観点別	科学的な思考・表現	55.4	58.2
	観察・実験の技能	55.3	61.1
	自然事象についての知識・理解	61.5	64.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
気象とその変化	市の正答率を下回っている。気温、湿度、飽和水蒸気量から露点をもとめるなど、活用能力が身に付いていない。	気温や飽和水蒸気量のデータからどのような空気なのかをイメージできるような図やモデルを用いて指導したい。
電流とその利用	熱量や電力量をもとめる計算問題を苦手としている。また、電流と磁界を利用した器具についての知識が低い。	計算問題や身近な現象について興味・関心をもって取り組むように指導したい。
生命の連続性	細胞のつくりなどの知識は定着している。子や孫の代の遺伝子の組み合わせを考える力が身に付いていない。	関心は高い内容なので、様々な事例を提示して遺伝のしくみについてさらに意欲的に考える力を身につけさせたい。短文記述の問題を多く取り入れるなど、表現能力を身につけさせたい。
化学変化とイオン	電解質・非電解質の性質などの知識・理解はあるが、電離をイオン式で表すことを苦手としている。	繰り返し練習することで、基礎・基本をとなる知識を確実なものになるよう指導したい。原子モデルを活用してさらに理解を深めていく。
運動とエネルギー	市の正答率を下回っている。平均の速さをもとめる計算や力の合成の作図などができていない。全体的に正答率が低い。	計算や作図などの問題を繰り返し練習することで定着を図る。小テストを実施するなど、理解度を把握して指導につなげていく。